

# Your Library

立教大学図書館だより

No.31

2015.2.10 WINTER ISSUE

ISSN 1883-1303

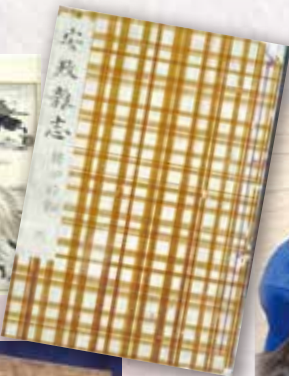
図書館  
ワークショップ  
開催報告号



『安政雑誌』- 桜田騒動 - 幕末頃



リールのニコラウス『聖書全注解』1481年



講師による資料解説

## 2014年度 貴重書ツアー



貴重書庫内(1層洋装本)

今年も貴重書ツアーを開催いたしました。池袋図書館の貴重書庫は、2012年の開館に際して設置された本格的な古籍収蔵施設です。地下2階にある貴重書庫スペースは通常係員以外は立ち入ることができませんので、利用者にとっては年に一度の見学のチャンスになります。今年も11月18日(火)の18時30分～20時30分に開催し、8名の参加者がありました。

「貴重書」というと「鑑定団」に出てくるような書画骨董を想像するかもしれませんが、大学図書館で購入されるものは、必ずしも高額な美術品ではありません。むしろ、成立年代が古く(和書1614年以前、洋書1800年以前)、学術的に価値があり、製本形態や紙質などから特別な書庫に収納する必要がある研究資料が大半です。なかでも「乱歩旧蔵資料」は本学貴重書の代表的なコレクションです。主に江戸期和本約500点が所蔵されています。

2階の講習会室に集合して貴重書の取り扱い方などの注意や説明があった後、地下の書庫を見学しました。貴重書庫内の壁や床には無節の杉板とブナ材が用いられ、24時間温湿度管理(22±2℃、50±10%)の環境が維持され、1層に洋古書、2層に和漢書が配架されています。

次に、前室内のテーブルに古典籍のオークション会場のように代表的な貴重資料を並べて、資料の解説を行いました。はじめに文学部兼任講師の丹羽先生から、立教大学図書館の代表的な貴重コレクションである江戸川乱歩の旧蔵資料について説明を受けました。乱歩が『好色一代女』、『大岡忠相比事』、『安政雑誌』などをよく読み、作品に用いて効果を上げていたこと、また蔵書家として自ら作成していた『和本カード』について解説がありました。乱歩旧蔵資料については、大学公式ホームページ内の「旧江戸川乱歩邸 公開記念サイト」に動画の解説が掲載されています。 <http://s.rikkyo.ac.jp/rampoedo>

続いて、職員の小泉から乱歩旧蔵資料以外の貴重書の紹介がありました。立教で最も古い資料は紀元前2000年頃のシュメル時代の粘土板の楔形文書です。築地に校地があった時代に宣教師が持ち込んだと思われる「リールのニコラウス『聖書全注解』」は、インキユナブラ(グーテンベルクと同時代の15世紀の活版印刷本)と呼ばれ世界でも珍重される本です。そのほか、『奈良絵本竹取物語絵巻』、夏目漱石『吾輩は猫である』初版本、マルクス『資本論』初版本などを実際に間近で見させていただきました。



『奈良絵本竹取物語絵巻』上巻 冒頭部分

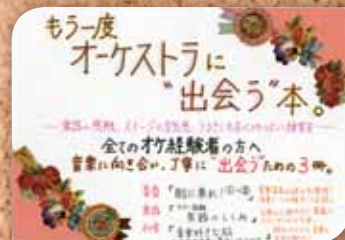
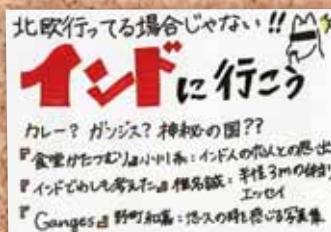
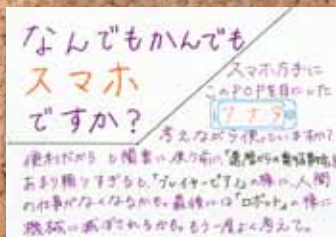
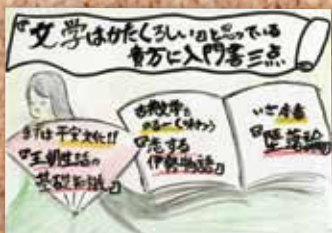
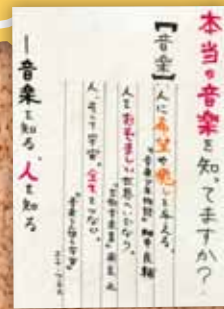
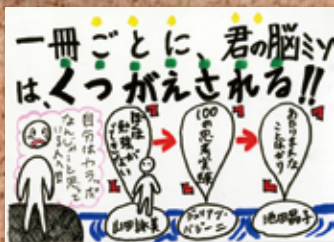
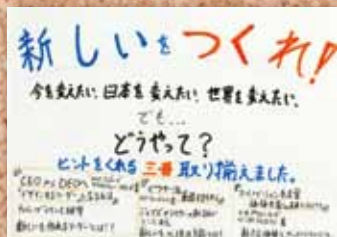


『吾輩は猫である』初版本 1905-1907



粘土板(楔形文書BC2000年頃)

# ブックハンティング 2014



※ブックハンティング2014で参加学生が作成したPOPです。選ばれた本は全て所蔵しているので、ぜひ手に取ってみてください。

10月15日(水)、今年で4回目となる図書館ワークショップ「ブックハンティング」を開催しました。会場は、都内でも有数の大きな書店であるジュンク堂書店池袋本店です。

まずは選書タイムです。8名の参加学生は、地下1階から9階までという広大なフロアの中から、自分のテーマに沿った3冊を探します。「いつもとちがう気持ちで書店をまわられた」という声を聞くこともでき、書店での選書は、参加者の皆さんにとって難しいながらも貴重な体験となったようです。

選書後は別会場に移動し、POP作成ワークショップです。まずは、ジュンク堂書店営業本部の大内さんを講師に、自分のテーマと選んだ本のお勧めポイントを伝えるための「POP作成ミニ講座」が開催され、POPの作り方を学びました。実店舗での豊富な経験に基づいた実践的な講義に、皆熱心に耳を傾けていました。

そしていよいよ、各自でPOP作成の実践です。参加者の皆さんは他人に興味を持ってもらえるように自分のメッセージを伝える難しさを感じつつ、試行錯誤しながら作業に集中していました。

最後に、できあがったPOPを選書理由と合わせて発表し、参加者同士で意見交換を行いました。そして、講師の大内さんから講評をいただき、ワークショップは無事終了しました。

参加学生からは「ターゲットを絞ること、情報をそぎ落とすことなど、POPづくり以外でもとても役立ちそうなことを教えていただき、実際に挑戦できた」という感想もありました。昨年に引き続き、経験豊富な講師によるPOP作成の実践指導は大好評でした。

この企画で選書された本は、10月27日～11月20日まで池袋・新座の各図書館でPOPと共に展示されました。展示場所に足を止める利用者も多く、貸出予約も多く入りました。

1冊の本が、POPによって新たな命を吹き込まれ、他の人の手に取られていく。本を通じた交流の面白さに、図書館スタッフも改めて気付かされた企画となりました。

## 選書



## POP作成



## 講評



<http://library.rikkyo.ac.jp/>

Your Library 第31号(通号90) 発行日 2015年2月10日

編集 小林 憲太郎 (図書館副館長) <http://library.rikkyo.ac.jp/>  
 発行人 豊田 由貴夫 (図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2628  
 発行 立教大学図書館 印刷 立教プリンティングステーション

